第３号　　令和６年１１月発行



福岡中学校・馬出小学校 建替検討委員会ニュース



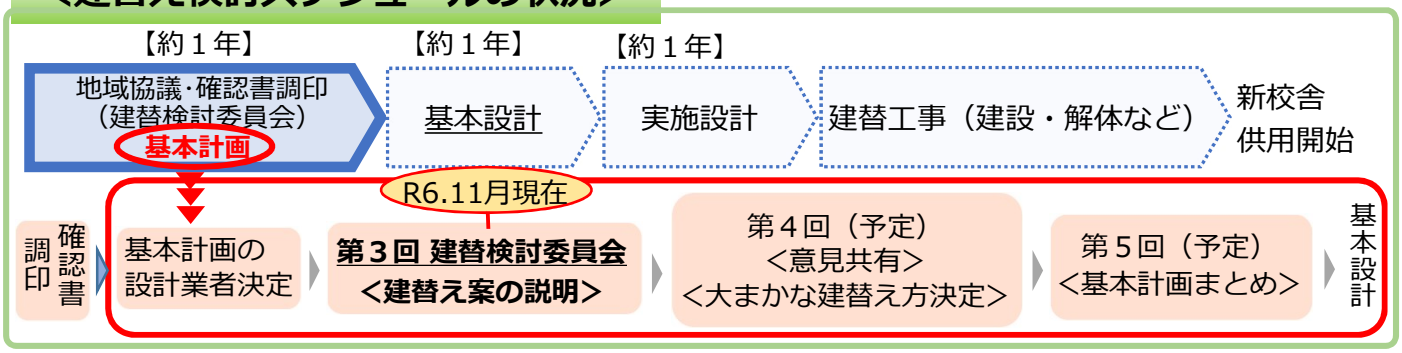
「福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会」では、校舎の老朽化に伴う建替を契機に福岡中学校の小規模校の課題を解決するため、建替えの方向性などについて協議しています。

＜前回までに確認された事項＞

◆福岡中の小規模校の課題を解決するため、**施設一体型による小・中学校を整備する。**
◆馬出小の方が比較的、児童・生徒の安全が確保できること、コミュニティ活動の中心であることなどから、新設する学校校舎は、**馬出小校地に建設する。**

令和６年１１月１２日（火）に第３回建替検討委員会を開催し、福岡中・馬出小の現在の施設利用状況や必要な諸室を踏まえ、馬出小敷地において小中学校に必要な機能を確保できるような配置案を事務局よりお示しし、地域の皆様と意見交換を行いました。

＜建替え検討スケジュールの状況＞



＜基本計画で確認する事項＞

大まかな建替え方（・施設規模と配置　・整備スケジュール　など）

＜配置案（２案）＞

馬出小学校を運営しながら小中学校を建替える２案を提示。※案の詳細については別紙参照
A案（反転建替え）**B案**（原位置建替え）

＜第３回委員会の主な意見＞

・建替えの前に通学路の道路拡幅をすべきで、時間がかかっても十分検討して進めたい。
・建替え案としてはB案（原位置）の配置がいいという意見で一致している。
・B案を希望する理由は、正面道路からのアクセスが良く、現況の環境と変わらないため。
・工事中は福岡中にプレハブを建てて小中使える第３の案を提示してほしい。
・工事中は通学路の迂回を検討など、道路拡幅と切り離して考えないといけない。
・馬出小の近くの民地を借りてプレハブや仮運動場を整備して運営できないか。　など

次回以降の委員会では、今回、皆様から頂いたご意見等を踏まえ、引き続き建替え方について協議を行っていきます。

お問い合わせ先
福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会事務局
（教育委員会学校計画課）
TEL：711-4252　FAX：733-5539
E-mail：gakkokeikaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

参考　提示した配置案

別紙

A案　<反転建替え>

特徴：建物がシンプルでコンパクトにまとまっており、運動場面積が確保しやすい

配置イメージ

完成後

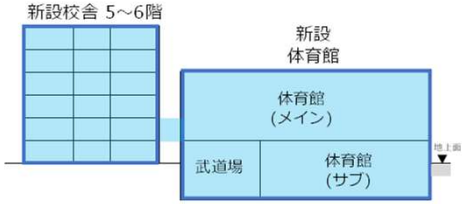


工事期間中　※既存体育館は使用可能



※児童と工事の出入口▽は分離できるが、工事のフェーズに応じて変わる

断面イメージ



整備フロー	1年	2年	3年	4年
①建設工事等	①			
②既存校舎・体育館解体		②		
③運動場工事			③	

★引越し

供用開始

○メリット　▲デメリット

【計画全般】

○まとめて解体工事ができるため、**工期約４年と短くできる**

○反転建替えのため、**学校の引越しが１回で済む**

○**約8,500㎡の運動場**を確保できる

▲建物が正面道路から奥の配置となるため、**歩行者と車両のアプローチの確保が必要**

▲建物が隣接する学校や東側の住宅へ近くなるため、**騒音・日照等周辺への配慮が必要**

【工事期間中の影響】

○**給食の継続も可能**

○児童の**運動エリアが比較的確保しやすい**

評価

○

B案　<原位置建替え>

特徴：既存校舎側に建物を建てるため、現在の配置環境が変わらない。また、正面道路から建物にアクセスしやすい

配置イメージ

完成後

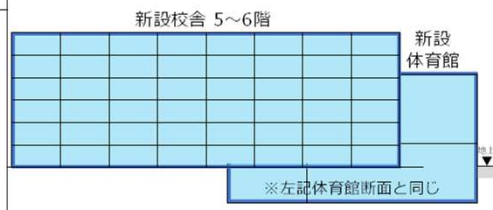


工事期間中　※既存体育館は使用可能



※児童と工事の出入口▽は分離できるが、工事のフェーズに応じて変わる

断面イメージ



整備フロー	1年	2年	3年	4年	5年	6年
①プレハブ校舎設置	①					
②既存校舎解体		②				
③建設工事			③			
④プレハブ解体				④		
⑤既存体育館解体					⑤	
⑥運動場工事等						⑥

★引越し

★引越し

供用開始

○メリット　▲デメリット

【計画全般】

▲解体工事が分散するため、**工期約６年となる**

▲原位置建替えのため、プレハブ校舎が必要で、**学校の引越しも２回必要**

▲**約7,500㎡の運動場**は確保できる

○**正面道路からの動線が短くアクセスしやすい**

○建物が敷地中央の配置で、**現況の環境とほぼ変わらない**

【工事期間中の影響】

▲**給食の継続が困難**（外部から配送する必要がある）

▲児童の**運動エリアが確保しにくい**

評価

△